



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1464 2025 年 9 月 8 日

ARIB からのお知らせ

「医用テレメータの電波管理実践ガイド」の公表について

ARIB が事務局を務める電波環境協議会（略称：EMCC）の「医療機関における電波利用推進委員会」では、医療機関での適正な電波利用の推進を目的に検討を行ってきました。

このような中、電波を使用する医用テレメータは、様々な原因による受信不良や混信の課題があることから、これまでも「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」等を策定し、周知に取り組んできました。

それ以降も、既存施設における医用テレメータの電波不感エリアの対策手法や、医療機関において活用する具体的な電波管理手法の検討を進めており、これまでの検討結果をもとに、「医用テレメータの電波管理実践ガイド」を取りまとめ、公表しました。

本実践ガイドは、医療機関において医用テレメータのトラブルを未然に防ぐため、臨床工学技士や看護師、医療機関管理者・事務職の個々の職種を対象として、電波管理を適正に行うために必要な情報になるべく分かりやすく提供することを目的としており、既存施設における電波不感エリア対策の具体的な事例等と併せて参考となる情報提供を行うものです。

なお、本ガイドについては、総務省、厚生労働省からも関係機関に情報提供されています。

本実践ガイドは、以下の URL より参照頂けます。

- ・ 電波環境協議会ホームページ

<https://www.emcc-info.net>

- ・ 「医用テレメータの電波管理実践ガイド」公表ページ

https://www.emcc-info.net/medical_emc/practical_guide/index.html

CEATEC 2025 での ARIB の出展等について

『CEATEC 2025』が、幕張メッセで 10 月 14 日（火）から 17 日（金）までの 4 日間にわたり開催されます。CEATEC の公式 Web サイトでは 10 月 1 日（水）から 31 日（金）まで、オンライン配信が行われます。

今年の CEATEC は、「経済発展と社会課題の解決を両立する『Society 5.0』の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、『共創』によって未来を描く」を開催趣旨として開催されます。

ARIB では、今年も同展示会に協力団体として協力するとともに、下記のとおり、幕張メッ

セ及び公式 Web サイトにて、電波利用システムの実用化及びその普及を促進し、電波産業の振興・発展を図る事業の一環として、最近の事業活動を紹介します。

また、今年度の電波功績賞※を受賞された技術やシステムの紹介を行うことにより、電波の有効利用に対する関心や理解を深めていきます。

なお、CEATEC へ出展するコンテンツ（ARIB の概要、研究開発活動及び電波功績賞受賞テーマの紹介）については、ARIB ホームページでも公開する予定です。

さらに、ARIB では昨年を引き続き、10 月 15 日（水）、16 日（木）の 2 日間について、同幕張メッセ国際会議場コンベンションホールにおいて、総務省及び XG モバイル推進フォーラム(XGMF)との共催により、「5G/6G スペシャルデーⅡ」と称した国際ワークショップを開催する予定です。このイベントは、5G の高度化・普及促進及び第 6 世代移動通信について、我が国が検討・提案する技術仕様が今後策定される国際標準に反映されるよう、国内外の関係者間での相互理解や連携の構築・推進することを目的としています。

記

1. 会場及び会期

- (1) 幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1）：2025 年 10 月 14 日（火）～17 日（金）
- (2) CEATEC 公式 Web サイト：2025 年 10 月 1 日（水）～31 日（金）
 - ・オンライン配信 (<https://www.ceatec.com>)

2. 出展及びワークショップ

- (1) ARIB ブースによる出展
 - ・パネル形式による ARIB の概要及び研究開発活動の紹介
 - ・パネル及びデモ展示形式による第 36 回電波功績賞を受賞した技術やシステムの紹介
- (2) 国際ワークショップ「5G/6G スペシャルデーⅡ」（10 月 15 日（水）、16 日（木））

※電波功績賞：

電波の有効かつ適正な利用に特別の功績を挙げられた個人又は団体を総務大臣表彰及び ARIB 会長表彰として、毎年表彰しているもの。

ARIB の動き

第 31 回 ITS 世界会議 2025 アトランタが開催される

8 月 24 日（日）から 28 日（木）まで、ITS America 主催の第 31 回 ITS 世界会議が Georgia World Congress Center において開催されました。「Deploying Today, Empowering Tomorrow」をテーマに、世界各国から ITS 関係者や政府関係者が集まり、講演と展示が行われました。

ARIB が事務局を務める ITS 情報通信システム推進会議（以下 ITSF）は、ジャパン・パビリオン内に展示ブースを出展し、活動状況を紹介するとともに、これまでの成果をまとめたブックレットの配布を行いました。

【開催概要】

- ・開催期間 2025 年 8 月 24 日（日）～28 日（木）
- ・会場 Georgia World Congress Center Hall A
- ・参加者(登録者数) 6,000 人以上*
ARIB から横山次長、渡部担当部長が参加
- ・セッション数 179*
- ・参加地域 61 ヶ国・地域*
(*は速報値)



Georgia World Congress Center Hall A

2 日目となる 8 月 25 日に開催された開会式では、主催者や開催地代表などからの挨拶に続き、地元アトランタ市交通局やジョージア州運輸省の代表らによるパネル・ディスカッション、さらに欧米アジア 3 極の代表らによるパネル・ディスカッションが行われました。欧米アジア各地域からの来賓挨拶では、アジア・太平洋地域を代表して国土交通省 物流・自動車局次長の久保田秀暢氏が登壇しました。

8 月 24 日の総務省主催のセッション SIS23 は、ITSF 国際協調専門委員会委員長の山本武志氏がモデレータを務め、「Strategy of V2X communication in Automated Vehicle」をテーマに開催されました。本セッションでは ITU-R や日米欧の政府や関係企業・団体からの登壇者が各地における V2X の検討状況と今後について報告やパネル・ディスカッションを行いました。日本からは、総務省総合通信基盤局電波部新世代移動通信システム推進室の藤井仁花氏が総務省における 5.9GHz 帯 V2X に向けた検討状況や今後の目標などについて紹介しました。

8 月 25 日のセッション SIS33 は、「Activities Toward ITS Deployment by the Ministries and Agencies at Japanese Government」をテーマに開催され、この中で、総務省総合通信基盤局電波部新世代移動通信システム推進室長の影井敬義氏が「“Mobility × Communication”

Activities and Challenges of MIC Japan」と題して、大阪・関西万博を含む総務省の取組や ITS における総務省の役割、自動運転に向けた政府目標、日本の 5.9GHz 帯 V2X に向けた周波数割り当て方針、新東名高速道路及び各地の一般道での実証実験、5G を含む通信インフラ整備に関する取組、今後の自動運転を支える通信環境確保に向けた議論について講演しました。

8 月 26 日に開催されたセッション SIS43「V2X / C-ITS for Vehicles & Micromobility」では、本田技術研究所取締役の塚本飛佳留氏が、ホンダのバイク事故防止に向けた取組や Connected Motorcycle Consortium の設立に加え、関係各社と合同でバイク向け C-ITS を 2028 年の欧州市場投入を目指して開発を行うことなどについて講演しました。



国土交通省 久保田氏



ITSF 山本氏



総務省 藤井氏



総務省 影井氏



ホンダ 塚本氏

展示会場では様々な企業・団体による展示が行われました。ITSF はジャパン・パビリオン内でのブースで ITSF の概要や日本の実証実験、歩行者や自転車の事故防止に向けた ITSF の取組などを紹介するパネルを展示するとともに、これまでの成果をまとめたブックレットを配布しました。また、ジャパン・パビリオン内では総務省や国土交通省をはじめ複数の出展者が新東名高速道路での自動運転や V2X に関する実証実験に向けた取組を紹介しており、官民一体となって取り組む姿勢を示していました。さらに、ITS Japan や豊田通商、トヨタではスマートポールを用いた歩行者・自転車事故防止に関する取組を展示していました。

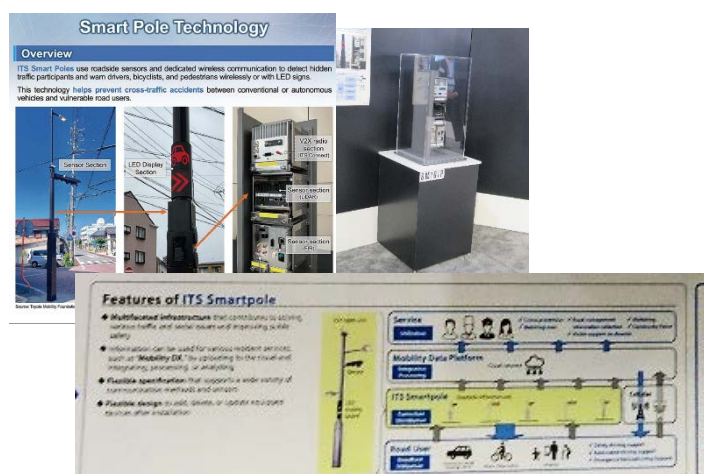
V2X 関連では、トヨタやデンソーが V2X や V2N を活用した安全運転支援や合流支援、走行意図やセンサー検知結果の共有など様々な取組を展示していました。また、ホンダブースでは、バイク事故防止に向けた C-ITS 機器の開発などのパネルが紹介されました。

今年は実車両の展示や自動車メーカーの参加が少ない印象でしたが、トヨタやホンダ、デンソーなどが実験車両の展示を行っていました。また、AI や V2X を活用した交差点での画像認識や事故防止/交通管理システムなどが各所で紹介されていました。

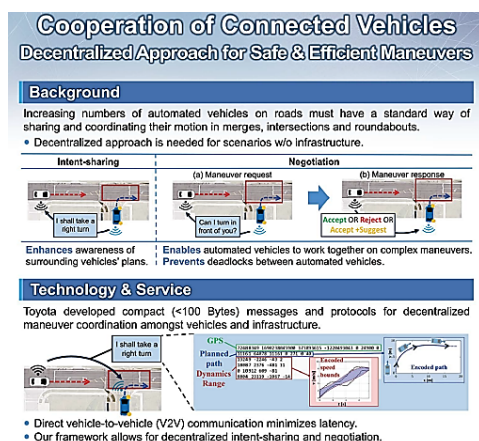
また、開催地のアトランタでは Waymo が自動運転サービスを展開するなど、ジョージア州は ITS に関する取組に積極的です。ITS 世界会議ではアトランタ中心部 1 マイル四方の公道を用いた V2X アプリケーションのデモも行われました。それらの設備は世界会議終了後も継続利用されるということです。



ITSF ブース



スマートポールの展示 (ITS Japan、トヨタ)



V2X による安全支援などの取組の一例 (トヨタ、デンソー)



様々な実車展示（トヨタ、ホンダ、デンソー）



Waymo の自動運転車両 ジョージア DOT による公道デモ車両

最終日にはクロージング・セレモニーが開催され、期間中の論文発表や講演セッションについて優秀表彰が行われるとともに、次回の ITS 世界会議が 2026 年 10 月 19 日～23 日に江陵（韓国）で開催されることが報告され、5 日間にわたる会議が幕を閉じました。



恒例の「パッシング・グローブ」セレモニー

日中韓情報通信標準化会議 IMT WG 第 74 回会合概要報告

1. 会合の概要

本会合は、日中韓3ヶ国の標準化機関（SDO: Standards Development Organization）におけるITU-R、APT、3GPP等のIMT (International Mobile Telecommunications) 国際標準化に対する取り組みに関する情報・意見交換を行うと共に、ITU-R SG5 Working Party 5D (WP 5D) 会合等の国際会合向けの共同寄与文書作成を行うことを目的としており、年3回開催されています。

日 程：2025年9月2日（火）、3日（水）

場 所：札幌（Web会議併用）

出席者：各国SDOのメンバーとして、CCSA（中国）から24名、TTA（韓国）から15名、ARIBから23名（事務局からは西岡理事、佐藤（拓）担当部長、金本主任研究員、安井主任研究員）が参加

2. 主要結果

- (1) 前回会合以降実施されたWP 5D第49回会合、APT WRC-27準備会合(APG-27)第2回会合及び3GPP会合の結果を共有し、今後の検討課題について意識合わせを行いました。
- (2) 2025年10月7日から開催予定のWP 5D第50回会合に向け、各国の準備状況についての情報共有及び意識合わせを行い、継続検討項目、作業内容を特定しました。
- (3) IMT-2030 無線インタフェースの技術性能要求条件 (Technical Performance Requirements: TPR)の策定に向けて、3カ国の具体的な目標値の提案を確認し、共通認識であるものに加え、その他の目標値についても、共同寄書化の可能性について継続議論することとなりました。また、没入型コミュニケーションの利用シナリオにおける拡張現実(XR)などの新しいユースケースへの適合性を確認するために必要な要求条件であるcomposite requirementを正式な要求条件に加える提案について、共同寄書化の可能性について継続議論することとなりました。
- (4) IMT-2030無線インタフェース技術の提案方法、評価基準、提案用テンプレート等を示す新報告ITU-R M.[IMT-2030.SUBMISSION]に関し、IMT-2020の内容をベースに提案できる部分について、共同寄書化の可能性を継続議論することとなりました。
- (5) WRC-27議題1.7に関して、APG27第2回会合で議論された、国際水域・空域で運用する局の保護や、7125～8400MHz帯のサブバンドごとに分けて議論するアプローチ等について議論を行い、意見交換を継続することとなりました。
- (6) WRC-27議題1.13に関して、前会合に引き続き、地上系IMT端末と衛星との直接通信における地上系IMT基地局及び端末への干渉保護措置について議論を行い、意見交換を継続することとなりました。

3. 次回会合のスケジュール

次回は2026年1月7日、8日に韓国・釜山においてWeb会議併用での開催を予定しています。

ARIB 内会合（9 月 8 日～9 月 12 日）予定

9 月 8 日（月）：デジタル放送システム開発部会主任会議

Web 会議併用

9 月 10 日（水）：第 331 回業務委員会

Web 会議併用

国際会合（9 月 8 日～9 月 12 日）予定

9 月 8 日（月）～9 月 12 日（金）：APT AWG-35 会合（バンコク）

Web 会議併用

9 月 13 日（土）：ARIB-DVB meeting @ IBC2025（アムステルダム）

総務省などからのお知らせ

「電気通信事業法の消費者保護ルールに関するガイドライン」 の改正案に対する意見募集

【令和 7 年 8 月 29 日発表】

総務省は、「電気通信事業法の消費者保護ルールに関するガイドライン」の改正案を作成しました。本案は「消費者保護ルールの在り方に関する検討会」（主査：新美育文 明治大学名誉教授）での議論等を踏まえ、上記ガイドラインの一部を改正しようとするものです。本案について、令和 7 年 8 月 30 日（土）から、令和 7 年 9 月 30 日（火）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【令和 7 年 8 月 29 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp